

2002年6月10日

関係各位

日本建築学会・振動運営委員会
地盤震動小委員会

第22回地盤震動地域交流会(2002年)・金沢の開催案内

建築学会大会の開催に併せて、開催地域の地震防災や地盤震動に関心をお持ちの方々との交流を重ねてきた地盤震動地域交流会も今年で第22回を迎えます。今回金沢の皆様方の全面的な協力を得まして、下記の要領にて交流会を開催いたします。NHKの大河ドラマでおなじみの加賀百万石の金沢城が新たに整備されて金沢城公園として公開されているおりでもあり、関係された方々の話題提供も含めて、活発な議論・交流ができればと考えております。

周囲の方々にもお知らせいただいて、ぜひご参加くださるようお願い申し上げます。

記

地盤震動地域交流会

開催日時 8月1日(木) 午後13時から16時45分

開催場所 金沢大学工学部 秀峯会館

(金沢市小立野2-40-20, 案内図参照)

話題提供

池本敏和(金沢大): 金沢城の微動観測と石垣の耐震性

宮島昌克(金沢大): 金沢市における強震動予測と被害想定

後藤正美(須田)(金沢工大): 常時微動測定による木造建物の振動特性評価
「主計町・東山町における伝統家屋の事例」

富樫 豊(富山美術工芸専門学校): 富山地方におけるマイクロゾーニング

河野芳輝(金沢大): おおよその地下構造を知ることと

地震動災害の予測に役立つ重力異常

平松良浩(金沢大): 北陸地方の地震活動

守屋以智雄(金沢大): 白山の噴火予知とその防災対策

交流会終了後

懇親会 工学部生協食堂 参加費 3,500円

参加申込は、7月22日(月)までに、別紙要領にて世話人宛にお願いします。
なるべく箇所でとりまとめていただき、E-mailでお願いできれば幸いです。

アクセスガイド

小松空港からJR金沢駅：

高速空港バス直行便にて約40分（1,100円）

バス：金沢駅西口側、北陸鉄道バス4,5番乗場から

10,11錦町行、11東部車庫行(兼六園経由)、10,11金沢学院大学行、
10,11金沢東高校行、12湯涌温泉行、12北陸大学行きに乗車、

「工学部前」下車、(約35分、230円)

タクシー：金沢駅より約20分(小型料金約1,600円)

注意：

金沢大学角間キャンパスと工学部は別のキャンパスですのでお間違えのないようにしてください。タクシーでは、「金沢大学」というと角間キャンパスへ行ってしまいます。かならず「小立野(こだつの)の工学部」と指示してください。



正面玄関を入り、すぐ左の建物です。